

## 校内研究計画書

令和元年3月16日 中村

### 1 研究主題

- (1) 研究教育課題 「次代の教育課題に関わる研究 学びの構造転換の推進」
- (2) 研究主題 「主体的・協同（働）的に学びを通して、思いや考えを深める児童の育成  
～（方法・場面）をとおして～」

### 2 主題設定の理由

令和2年度施行となる新学習指導要領で目指す、「主体的・対話的で、深い学び」につながる授業を目指し、具体的に本校の児童の実態を踏まえて設定した。

「主体的」・・・児童が自ら「やりたい」「学びたい」という意欲を高め、学習や活動に取り組むようにする。

「協同（働）的」・・・一人一人が自分のよさや役割をいかしながら、目的に向かう「協働」という意味を込めるとともに、子ども達が共に関わりながら学ぶ「協同」を計画的に行う。対話の力を育成することで相手を受け止め、関わることの良さを実感させたい。

「思いや考えを深める」・授業に限らず、学校生活全体の中で自分の思いを見つめ直し、考えを深めることができる児童の育成を行い、深い学びを目指す。

### 3 研究の仮説

学びの構造転換の考え方をふまえ、「個別」「探究」「協同」のキーワードのとらえ方を本校の実態に合わせて授業づくりを行う。児童一人一人が個別の課題を設定することで、探究する活動に意欲的に取り組むことができる。また、協同の活動を意図的・計画的に設定し、対話の力を育成・活用して実施すると、知識及び技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう人間性の3つの資質・能力を高めることができるだろう。

### 4 研究の内容・方法

- (1) 内容 ①教科 国語 ②領域 指定なし ※久我山学級の教科は
- (2) 方法
  - ・研究課題についての講演会
  - ・全体会における模擬授業
  - ・日常的な授業実践
  - ・研究授業（令和2年度 5回）
  - ・先行研究の授業視察
  - ・研究収録、リーフレットの作成
  - ・指導計画の見直し
- (3) 昨年度の成果による継続する活動
  - ・朝の時間（高二タイム）の活用 例：インタビュータイム 話し合い
  - ・よりどころとなる掲示物の作成（～MAX、～極意 等）
  - ・日常的な対話活動（話すこと聞くこと領域の指導計画参照）
  - ・ホワイトボードの活用（話し合い活動で、内容を見える化する）

### 5 研究の構造図 別紙参照

## 6 研究の組織

<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center;">校長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">副校長</td> </tr> </table>	校長	副校長	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center;">研究主任 中村</td> </tr> </table>	研究主任 中村	低学年分科会	1・2年担任 専科
	校長					
	副校長					
	研究主任 中村					
中学年分科会	3・4年担任 専科					
高学年分科会	5・6年担任 専科					
久我山分科会	久我山学級担任 専科					

## 7 研究の計画

### (1) 3か年計画

段階	期間	研究内容	
第1期 試す	H31年4月 ～R元年8月	国語 話すこと聞くこと領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な取組み（帯・ミニ単元）</li> <li>・研究授業準備（夏季休業中）2回</li> </ul>
第2期 知る・つかむ	R元年9月 ～R2年3月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業（区内公開）5回</li> <li>・主題に迫る手立ての検討</li> <li>・指導計画の見直し</li> </ul>
第3期 深める	R2年4月 ～R3年3月	国語 （対話活動をいかして）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な取組み（年間通して）</li> <li>・研究授業（区内公開）5回</li> <li>・主題に迫る手立ての実施</li> <li>・リーフレット作成（年度末完成）</li> </ul>
第4期 広げる	R3年4月 ～R3年12月	全教科領域 （対話活動をいかして）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な取組み</li> <li>・研究授業（区内公開）5回</li> <li>・研究発表（仮）の準備（夏季休業中）</li> </ul>
第5期 伝える	R4年1月（仮）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究発表会（仮）</li> </ul>

## (2) 今年度の計画 研究に関する予定

月日	会議・全体会	内容
4月1日(水)	三部会(顔合わせ)	
4月2日(木)	三部会(4月分)	→4/6 職員会議
4月6日(月)	三部会(5月分)	→5/8 職員会議
4月22日(水)	★校内研究全体会①	研究の概要説明・日程・研究のすすめ方について 分科会(授業者・単元等)
5月7日(木)	三部会(6月分)	→6/13 職員会議
5月23日(土)	運動会→土曜授業	
5月27日(木)	★校内研究全体会②	講演会(学芸大学 中村和弘先生)
6月2日(火)	三部会(7月分)	→6/17 職員会議
6月26日(金)	★校内研究全体会③	<b>研究授業①</b>
7月1日(水)	三部会(9月分)	→7/15 職員会議
7月29日(水)	★校内研究全体会④	分科会検討日
8月21日(金)	三部会(10月分)	→8/26 職員会議
8月24日(月)	★校内研究全体会⑤	分科会検討日
9月29日(火)	三部会(11月分)	→10/14 職員会議
9月30日(水)	★校内研究全体会⑥	<b>研究授業②</b>
10月27日(火)	★校内研究全体会⑦	<b>研究授業③</b>
10月28日(水)	三部会(12月分)	→12/11 職員会議
11月13日(金)14日(土)	学芸会	
11月20日(木)	★校内研究全体会⑧	未定
12月4日(金)	三部会(1月分)	→12/16 職員会議
1月8日(金)	三部会(2月分)	→2/12 職員会議
1月27日(水)	★校内研究全体会⑨	<b>研究授業④</b>
2月3日(水)	三部会(3月分)	→2/17 職員会議
2月18日(木)	★校内研究全体会⑩	<b>研究授業⑤</b>
3月3日(水)	★校内研究全体会⑪	まとめ
3月4日(木)	三部会(新年度)	→3/17 職員会議